

徳之島用水土地改良区（鹿児島県）

令和6年度から、3名の女性が定数内で新理事に就任しました。
「未経験の理事職にまだ戸惑い気味ですが、先輩方から知識や経験を学び、
ともにスキルアップしながら、3人で力を合わせて頑張ります！」



後列左から 宮永理事長、昇事務局長
前列左から 南郷理事、中磯理事、當理事

組織の概要

面積：3,451ha
組合員：3,438人
理事：18人（うち女性員内3人）
監事：4人（うち女性0人）
職員：8人（うち女性0人）

通常の方法：受益が伊仙町・天城町・徳之島町の3町にまたがっており、員内理事は各選任区（各町）から、それぞれ5人の候補者を選出している。なお、員外理事は各町の首長を充てている。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

女性理事登用に伴う定款変更なし

令和6年3月29日
総（代）会にて選任
4月1日
理事就任
（任期：令和10年3月31日）

なんごうゆきこ 南郷由希子 理事

経歴

畜産農家ですが、サトウキビやジャガイモも栽培しています。公的な肩書きは特にありません。

理事になって思うこと

私の集落では曜日で担当を決めて、スプリンクラーの水管理をしています。土地改良区としての水管理や機器の修理体制等について理解し、地元と土地改良区を繋ぐ役割ができればと思っています。散水機器の故障等の際には、農家のために最も適切で効果的なアドバイスができるようになります。

女性理事登用を進めるための秘訣

これからの若い農家のために自分ができることをするというスタンスも大事だと思っています。集落には若手の女性農業者もいます。自分が思いきって理事を務めることで、次に続く人へ道を作れるのではないかと考え、やってみることにしました。

みやながまこと 宮永誠 理事長より

国の男女共同参画推進がきっかけではありましたが、これを機に員内理事に女性3名を迎えられたことは大変喜ばしいことです。

とはいえ、今は就任したばかりですから土地改良区の運営に参画していくのは、まだこれからです。男性が気付けずにいたこともあるはず。様々なことに疑問を持ち、知識を得ていく過程で、我々が見過してしまっていたことにも光を当てて欲しいと考えています。

当土地改良区の一歩の課題はダムの利用促進です。女性は男性とは異なる種類のネットワークを持っています。それらを活用しながら、土地改良区や水利用に対する理解を広げるための支援をお願いしたいと思います。

なかいそもみ 中磯朋美 理事

経歴

ジャガイモ、トルコギキョウを栽培しています。令和5年度末まで、農業委員を2期6年務めました。

理事になって思うこと

ジャガイモはもちろん、トルコギキョウのハウスでも水をたくさん使いますので、水には感謝しています。しかし、何も知らないまま水を使っている部分もあり、土地改良区のことを、もっと知りたいと考えました。その知識を組合員の女性にも、土地改良区の外にいる女性たちにも伝えていけたらと思います。

女性理事登用を進めるための秘訣

女性理事に何を求められているのか、どんな仕事をするのか。それらが漠然としてしていると、どうしても不安になります。仕事の内容について、できるだけ具体的に教えてもらえるほうが安心できますし、引き受ける際も決断しやすいと思います。

あたりしの 當志乃 理事

経歴

サトウキビ、ジャガイモを栽培しながら、徳之島町多面的機能支払協議会の事務も担当しています。公的な肩書きは特にありません。

理事になって思うこと

地元の女性たちと土地改良区との繋がりを広げていきたいです。水利用営農の効果や、土地改良区の役割など、パンフレットや冊子でいろいろ紹介されていますが、それだけでは伝わりにくい気がします。直接顔を合わせて言葉を交わせるような場があれば、お互いの理解も深まりやすいのではないかと思います。

女性理事登用を進めるための秘訣

私は農業を始めて8年、まだまだ初心者です。こんな何も知らない私でも、なんとか理事を頑張れていることがわかれば、きっと「私もやってみようかな」と考える人が出てくると思います。間口を広げる一歩になりたいと思って引き受けました。

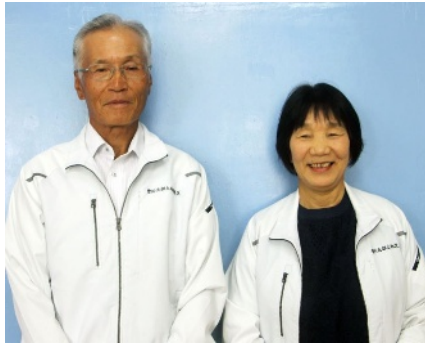
事務局長より

女性理事登用については、員外でお願いすることも含め、いろいろ検討しましたが、結果として、員内で迎えたいということになりました。その際、様々な団体で役員を経験が豊富な方ではなく、敢えて、できるだけ肩書とは無縁の方をお願いしたいと考えました。そのほうが、慣例にとらわれない新しい考え方や、新しい感覚を土地改良区に取り入れてくださるのではないかなと思ったからです。

その甲斐あって、3町からそれぞれ1名ずつ、自分の言葉で、率直に意見を述べる方々に就任していただくことができました。役員経験はなくても、みなさん、水を使った農業を実践されている農家の方々なので、それが何よりの強みです。今後のみなさんの発言や活動をととても楽しみにしています。

曾於北部土地改良区 (鹿児島県)

～ 食料と環境を未来の子供たちへ ～



左) 高井田理事長 右) 山ノ内理事

組織の概要

- 面積：1,988ha
- 組合員：2,775人
- 理事：12人 (うち女性1人:員内)
- 監事：3人 (うち女性0人)
- 職員：5人 (うち女性0人)

通常の理事：推薦会議において推薦された者を総代会
登用方法 の議案として諮り選任。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年3月17日 総代会にて選任
4月1日 理事就任
(任期：令和9年3月31日)

やまのうちひさえ 山ノ内ひさえ理事



経歴
農業委員、JA理事、
JAそお鹿児島 女性部副部長、
現JAそお鹿児島 女性部部長、
女性農業経営士

理事になって思うこと
(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)
理事就任2年目でまだ分からないこともありますが、知り合いの理事もいるので理事会での発言は比較的しやすいです。他の活動にも当てはまりますが、活動する上では家族の理解があるのが一番だと思います。女性理事が増えれば誰もが意見を言いやすい組織になると思います。

女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)
土地改良区の理事を頼みたいと打診され、不安もありましたが、事務局からの熱心な誘いに後押しされ「よし！やってみるか」と勇気がわきました。女性理事の勧誘については、根気よく説明し、女性の視点・アイデアの必要性を理解してもらうことが大切ではないかと思います。

山ノ内さんが理事を引き受けるまで

事務局
※どのように説得したか。
役員改選の半年ほど前から役員や総代、市の営農推進担当者に相談していたところ、曾於市より紹介いただきました。打診の際、女性組合員が少ないことがハードルとなりましたが、快く引き受けていただきました。

山ノ内理事
※引き受けた決め手。
事務局より相談があり、前女性理事とも面識があったこと、また、水利用の効果を伝える上で、自分なりの助言ができれば土地改良区の力になれるのではないかと思います。

たかいだしげる 高井田繁 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。
設立当初から女性理事が在籍し、女性目線の意見や気遣いなど登用の意義は多大に感じています。今後は理事だけでなく、女性総代の登用も視野に入れ、女性が参加しやすい土地改良事業となり地域発展にも寄与できればと期待しています。

事務局長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。
山ノ内理事の話に、『女性は会議や交流の場で学んだ色々な情報を家族に報告するが、男性は何も報告しない。女性が活躍することで、みんなが情報を共有し、生かされ社会の発展に繋がる』という言葉は私の胸に刻まれています。

伊佐市羽月西土地改良区 (鹿児島県)

土地改良区の元職員が理事に就任



左) 山口理事長 中) 坂元理事 右) 田口職員

組織の概要

面積：178.8ha
組合員：293人
理事：9人（うち女性員内1人）
監事：3人（うち女性0人）
職員：1人（うち女性1人）

通常の仕事：地区内を1つの選挙区として、地区全体
雇用方法 から理事選挙を行っています。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年3月22日 定款変更(定数1名減)
9月1日 理事就任
(任期：令和9年8月31日)

さかもときょうこ 坂元京子 理事



経歴

羽月西土地改良区の元職員。退職後、土改良の臨時職員を経験され、平成28年から現在まで、JAの契約職員として公金収納窓口の担当をされています。

理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)
私自身は、理事長とは同い年で、他の役員の方々とも面識があったことから、周囲から特に反対されず役員になることができました。小規模な土地改良区で、員内理事を登用する場合には、理事長や理事との日頃からの関係性が重要になります。農地は男性が管理している場合がほとんどで、女性は入っていきづらい環境ですが、田舎ならではの付き合いが解決の糸口になると思います。

女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

理事になっても、できることには限りがあり、もちろんできないこともあります。理事としての責任をあまり重く受け止めすぎると自分が苦しくなります。そうならないことが大切です。私の場合は、理事長と古い付き合いで、色々なことを気軽に話すことができる関係性だったから上手くいっていると思います。

坂元さんが理事を引き受けるまで



理事長

※どのように説得したか。
土地改良区や、複式簿記についてある程度理解している人で、理事をお願いできる人は、坂元さんしかいないと誠心誠意、説得しました。



坂元理事

※引き受けた決め手。

理事長と当時の副理事長との日頃からの関係性があったからこそです。また、土地改良区のことをもっと知る良いきっかけになると思いました。仮に、2人以上からお願いされていたら、引き受けてはいませんでした。

やまぐちひろみ

山口博稔 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

女性理事だからと特別扱わず、他の理事と同じ仕事をしてもらうことが重要だと思います。最初から女性理事だからと役割を分けてしまうと、他の理事と壁ができてしまい本人も苦労します。男性・女性に関係なく、できることできないことをお互いにカバーし合う体制作りが必要です。

職員より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

今までは、女性が自分一人の環境でしたが、坂元さんが登用されたことで、同性の相談相手が出て、仕事がよりやりやすくなりました。理事会でも、事務局の仕事の手伝いをお願いしたり、理事会終了後に、2人で話をしたり、とてもありがたい存在です。